

エコで便利な地域の足、観光の足を目指します
コミュニティサイクル展開エリアを拡大
 他区との乗り入れと共に区内全域展開を！

新たな取り組み

事業経費

5,892万円

◆事業内容

これまで臨海部で展開していたコミュニティサイクルを、区内の他地区にもサイクルポート(専用駐輪場)を整備することにより、区内全域に順次展開していきます。
 (「江東区東京オリンピック・パラリンピック基金」の活用)

◆目的

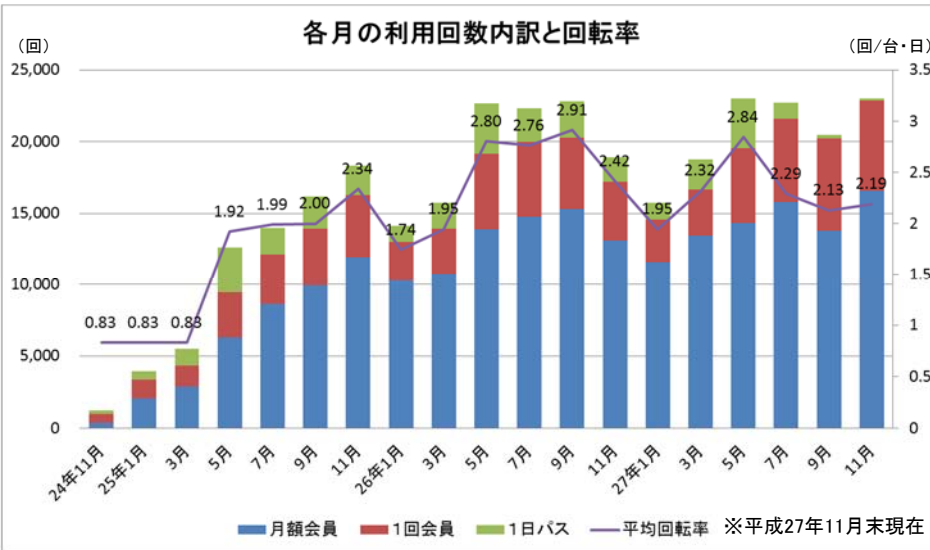
平成28年2月1日に開始した近隣区(千代田区、中央区、港区)との相互乗り入れ実験及び更なる広域化を見据え、これまで区内の限定的なエリアで実施してきたコミュニティサイクルの、区内全域への展開を進め、今まで以上の利便性の向上を図っていきます。

◆特色・効果

- 現在の展開エリア(臨海部)から区役所周辺までを結ぶエリアを中心に、サイクルポート27か所程度を増設し、自転車を約250台増車します。平成28~30年度の3か年で区内全域にエリアを拡大します。
- まちの回遊性の向上や南北交通の不便解消を進めていきます。

◆実績・背景

平成24年11月の開始時から、利用回数、回転率は高い数値で推移しており、利用者アンケートでも高い評価を得ています。



電動アシスト自転車



有明客船ターミナル サイクルポート

◆他区の状況 (平成27年12月1日現在)

	江東区	千代田区	中央区	港区
サイクルポート数	28か所	41か所	23か所	24か所
自転車台数	350台	300台	200台	265台

長期計画の該当項目：施策3-1 便利で快適な道路・交通網の整備

担当課：まちづくり推進課
 窓口：5階22番

電話：3647-9714
 内線：2922

拠点回収から集積所回収へ！
蛍光管・乾電池の回収方法を見直し
 水銀含有廃棄物の適正処理を推進します

事業の拡充

事業経費

3,793万円

◆事業内容

現在、拠点回収している蛍光管・乾電池や不燃ごみとして収集している水銀体温計・水銀血圧計を、不燃ごみ収集日(隔週1回)に、他の不燃ごみと分別して回収します。

◆目的

蛍光管等の水銀含有廃棄物の回収の徹底と適正処理を推進します。

◆効果・特色

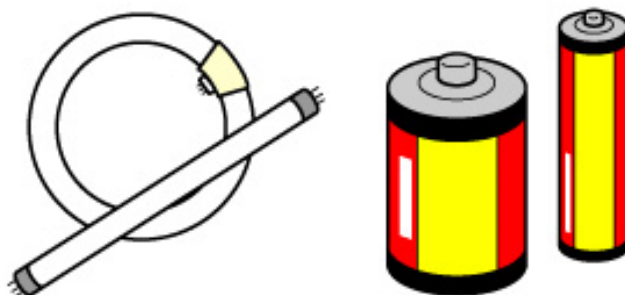
- 蛍光管・乾電池については、拠点回収からごみ集積所での回収に変更することにより、区民にとって排出の利便性が高まります。
- ごみ集積所で分別回収することにより、回収量の増加が期待でき、より適正な処理を推進することができます。

◆開始予定

平成28年10月

◆実施場所

区内、ごみ集積所(約11,000か所)



◆実績(平成26年度)

	蛍光管	乾電池
回収拠点数	区施設・電器店など49か所	区施設26か所
回収量	10.5トン	17.2トン

◆背景

平成25年10月に「水銀に関する水俣条約」が採択され、現在、国は当条約の締結に向け、法令整備を行っています。当条約や関係法令の主旨を踏まえ、水銀含有廃棄物の回収の徹底と適正処理の推進が求められています。

長期計画の該当項目：施策4 循環型社会の形成

担当課：清掃リサイクル課
 窓口：防災センター6階4番

電話：3647-9181
 内線：6341

小学生が描いたポスターコンクール区長賞作品を活用
地下鉄駅階段にポイ捨て・歩行喫煙防止の啓発シートを設置
 通勤者の多い、豊洲駅で実施！

事業の拡充

事業経費

26万円

◆事業内容

環境美化対策の一環として、地下鉄駅の出入口階段に、「みんなでまちをきれいにするポスターコンクール」の平成27年度区長賞作品を印刷した啓発シートを設置します。
 (小学生高学年の部・低学年の部各1点)

◆目的

ポイ捨て、歩行喫煙等の防止を呼びかけ、特にこのような迷惑行為の多い駅前での環境美化の推進を図り、ポイ捨ての撲滅を目指します。

◆効果

- 通勤者の多い駅階段に、目立つ啓発物を設置することで、より多くの人への啓発が期待できます。
- 小学生が描いたポスターを活用することで、ポイ捨て等をしようとする人の視覚・心理に強く訴えかけます。

◆開始予定

平成28年5月

◆実施場所

東京メトロ有楽町線
 豊洲駅(予定)

◆実績(平成27年度)

東京メトロ東西線 東陽町駅(2か所)



東陽町駅での啓発シート
 (平成27年5月設置)

◆背景

区内のポイ捨て・歩行喫煙等の状況は、改善傾向にありますが、未だにルールやマナーを守らない人を見受けられ、啓発活動を継続する必要があります。

長期計画の該当項目：施策29 住みよい住宅・住環境の形成

担当課：環境保全課
 窓口：防災センター6階5番

電話：3647-9373
 内線：6347

省資源・省エネルギーの循環型社会構築に向けて

区議会にペーパーレス会議を導入

議会関連資料の電子化を図り、ペーパーレス化を促進

新たな取り組み

事業経費

1,153万円

◆事業内容

区議会議員にタブレット端末を貸与し、区議会で配付する資料を、紙での配付からタブレット端末での閲覧とすることで議会のペーパーレス化を促進します。

◆効果

- ペーパーレス化を進めることで環境負荷の低減、紙文書の印刷経費・廃棄コストの削減が図れます。
- 文書の保存や管理、検索が容易になります。
- 資料の活用が効率的になり、区議会議員は、区民へのよりわかりやすい説明が可能となります。

◆背景

本会議や各委員会での紙資料が膨大となっていたことから、平成27年度、区議会幹事長会で「ペーパーレス化検討プロジェクトチーム」を発足し、議会関連資料のペーパーレス化の検討を重ねてきました。

◆規模

台数	92台(議員44台、理事者等48台)
使用する会議	本会議、常任委員会、特別委員会、幹事長会 等

◆スケジュール

平成28年6月	幹事長会から導入し、順次運用拡大
---------	------------------

◆他区の状況

中野区、豊島区で試行実施



タブレット端末を導入した江東区議会
(イメージ)

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて（3） 自律的な区政基盤の確立

担当課：区議会事務局
窓口：3階

電話：3647-3546
内線：3521